

ケアハウスあじさい事業報告

(令和7年度)

基本方針より

「ケアハウスあじさい」での生き生きとした暮らしづくりに向けて、転倒骨折などの事故防止や介護予防活動、健康づくり活動に積極的に取り組んでいくとともに、入居者一人ひとりのアセスメントによる個別援助計画を作成し、質の高い個別ケアに取り組んでいく。

1. 生活環境作り

- ・ 季節に合わせた飾り物(しめ縄・鏡餅・ひな人形・五月人形・七夕飾り・クリスマスツリー等)を施設の共用の場に飾り、施設の庭で咲いている花や、時には購入した生花を置くなどし、入居者に季節感を楽しんでもらった。
- ・ 入居者は職員と一緒に相談しながら飾り付けをすることで、一体感を持ち共用場所の空間に関心を持っていた。
- ・ 庭に花を植えたり、動物や花の置物を置いたりすることで、入居者の憩いの場所として、庭にやすらぎと華やきをもたらしたことを維持継続した。

2. 介護予防及び健康づくりへの推進・充実

- ・ いきいきクラブでは、入居者からのアンケートをもとに、できるだけ身体を動かすことを中心に体操やストレッチを行い、時にはゲームなどをして参加意欲をかき立て健康づくりに関心を持っていたよう努めた。
- ・ 毎朝決まった時間にラジオ体操をすることで運動不足の予防にも繋がっている。
- ・ 言葉遊びや脳トレなどの、認知症予防にも関係する要素も取り入れたレクリエーションなど楽しみながら参加していただけるよう企画し行った。

3. 地域化活動

- ・ コロナウイルス感染症の流行により数年前から浦安小学校との交流行事が中止となっているが、浦安学区探検で小学生が地域を歩かれる際はトイレを使っていることで短い時間ではあるが交流が持っている。
- ・ 地域交流での「あじさい夏祭り」は感染症予防のため地域の方との交流は行わず中止となった。
- ・ 「さくら」の活動については、毎週月曜日に活動しており、体操後の団らん時に時々参加させていただき、参加者とのコミュニケーションを図った。
- ・ 入居者の中に「さくら」の中で行っている「あっぱれ桃太郎」に参加したいと希望がありほぼ毎週参加されている。入居者との交流の機会にも繋がった。
- ・ 「さくら」のメンバーの方がケアハウスのいきいきクラブに参加する機会もあった。
- ・ 「キッズチャレンジ」(夏休みフリー塾)については、今年度も公民館で行うことになり、

人員のみの協力として参加し「食べ物折り紙」を開催し子ども達から好評を得た。

- ・ 「子ども食堂」については、浦安を中心として有志が集まった「みんなの広場浦安」において、毎月子ども食堂を開催しており、地域の社会福祉法人として参画している。令和5年から継続して参加し、地域の色々な人々と交流できている。

4. 感染症・食中毒の予防・まん延防止と健康管理

- ・ 今年度はコロナウイルス、インフルエンザに感染された入居者は一人も居なかった。
- ・ 外部のデイサービスに通われている入居者の中で、コロナ感染者と接触した可能性のある方がいた時は、施設内で感染症が蔓延しないために、念のためその方を隔離し、様子をみさせていただいた。
- ・ 今年度も岡山市でコロナウイルス感染症が発生したこともあり、昨年度から引き続き感染症予防のために必要な内容を掲示し、入居者には茶話会や給食委員会で注意奮起を行い感染症予防についての啓発を行った。
- ・ 感染症対策の研修時には、嘔吐があった場合に迅速に対応できるように、消毒の仕方と防護服の着用を実際に体験してもらった。
- ・ 外部講師の施設内研修では「高齢者施設における感染症の理解と対応」という内容で感染症全般について講習を受けた。
- ・ 共用部分の手すりや取っ手の毎日の消毒と、来客者に向けた手洗いうがいのポスターでの啓発、自由に使って頂けるように玄関にマスクを置いて予防対策を行った。
- ・ 職員への感染症対策を引き続き徹底し、外部からの訪問者には面会時の健康観察を継続した。
- ・ 食堂に空気洗浄機を置き、テーブルには飛沫防止のためのアクリル板を引き続き設置するなどし、感染予防に努めた。
- ・ 定期健康診断(胸部レントゲン4月)、インフルエンザ予防接種(11月)の実施。
- ・ コロナウイルスワクチン接種については施設で一斉での接種は行わず、各々で主治医などに相談していただき必要と判断された方については接種されていた。

(入居者・法人職員)

- ・ インフルエンザ注意報や警報の発生時には、啓蒙のポスターを張り出し、入居者や職員に知らせた。
- ・ 職員や家族が感染症に掛かった場合の対応について感染症委員会で話し合い見直しを行った。

5. 事故防止対策の徹底

- ・ 施設設備の使用について、入居者から意見を伺う機会(茶話会)を作ることで、予防に向けた早期の対応を実施した。
- ・ 居室での転倒時や体調が悪い時に、ナースコールを使用される方が何人かいらっしゃった。今後も居室のナースコール緊急時の連絡体制に不備の無いように努めていきたい。
- ・ 施設設備の不備による事故発生防止の「設備点検管理表」による定期的な点検ができなか

った。来年度の課題として計画していく。

6. 栄養・給食

- ・ 毎月の給食委員会で入居者代表の方に参加していただき、給食についての率直な意見をうかがい、日々の食事に入居者の希望が反映されるようにした。
- ・ 食事アンケートを行い、より個々の詳細な意見を徴収し、食事についての満足度の向上に努めた。
- ・ 施設の中庭で鉄板焼きをして、外で食事をしていただくことでいつもとは違った雰囲気ですぐに食事を楽しんでいただいた。
- ・ 出前食事会の日をつくり、外食に出掛けられない方にも外食の雰囲気を味わっていただき出前の食事を楽しんでいただいた。
- ・ 季節に応じた行事食を行うことにより、昔ながらの風習を懐かしんでいただき、普段とは違った食事内容でメリハリをつけることで入居者に喜んでいただけた。
- ・ 献立表を貼りだし、飾り付けをしたり、あらかじめ行事食のお知らせをするなどして、給食に興味を持っていただけるようにした。

7. 職員の質の向上

- ・ 年間計画を立て、おおよそ毎月一回は外部講師を招いて、施設内研修を行うことができた。
- ・ 感染症対策に関しては、特に重点的に年4回の研修会を行うことで感染症に対する知識を深め、対応力を高めることができた。
- ・ 各部署のリーダーを対象とした研修を行い、組織力の強化に図った。
- ・ 認知症の研修では他施設の利用者さんに直接意見を伺うことができ、認知症に対しての理解をより深めることができた。
- ・ ケアハウスという「見守り支援」の特徴から、状況判断を伴う臨機応変であり、かつ入居者や家族の立場に立った気配りが求められている「豊かな人間性」が今後の研修の課題である。
- ・ 職員入社時の研修に感染症対策（防護服の着用・吐物処理）を組み入れた。

8. 2棟におけるグループホーム的ケア（認知症ケア）

- ・ 3月現在、認知症高齢者7名の心身状況となっている。2棟での支援が認知症ケアというだけでなく、広義での高齢者にとっての家庭的な空間での安心した生活を送っていただく場所となっている。
- ・ 1棟から2棟へ転居することにも取り組み、1棟入居者の安心にも繋がっている。
- ・ 少人数での生活で、それぞれが居心地の良い居場所となるように支援していく、また個別援助を明確化し具体的に行っていくことを引き続き課題としている。
- ・ 2棟で孤立した生活を送るのではなく、1棟の方達と一緒に行事へ参加をするなど交流を持ち、人との繋がりを持っていただく。

- ・ 介護保険サービスを利用し、より安心して暮らしていただけるような工夫を行っていく。

9. 趣味・余暇活動実施

- ・ 園芸が趣味でお元気な方が施設の庭の草取りなどを不定期に行って下さっている。
- ・ 秋には感染症予防に気をつけながら、倉敷・美観地区へ日帰り旅行に出掛けた。当日は曇り空で風も強く、肌寒い中での観光となった。参加者の身体状況や歩行状態により、3グループに分かれての観光となったが、昼食は同じレストランで食事をしたことで入居者間での会話も弾み交流を持つことができた。
- ・ 今後コロナ感染症が落ち着けば、入居者が充実した時間を過ごせるように関心のあるクラブ活動を増やしていきたい。他にも来て頂ける講師やボランティア等、検討していくことが課題。
- ・ 今年度、押し花教室については、毎月先生と相談しながら状況に合わせて行った。
- ・ 行事でカラオケを行った。カラオケが好きな方が多く、時間が足りないくらいに盛り上がった。

10. 職員体制 R7. 3 現在

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	管理栄養士
1名	1名	(正) 1名	(正) 3名 (非) 2名	(非) 1名

11. 防災

- ・ 年3回の避難訓練・消火訓練については計画通り実施することができた。
- ・ 消化器を使用し消火の練習を行った。
- ・ 避難計画について今後も災害の種類に応じた計画を立てていく。
- ・ 水害の際、垂直避難を可能にするため屋上へ上がる階段を設置した。また、屋上へ対策用品を備蓄した。

12. その他

茶話会（入居者全員と情報・意見交換）を毎月開催し、入居者間の親睦及び共同生活上での問題点等の改善に努めた。

13. 今後の課題

新型コロナウイルスは引き続き存在し、世間の感覚では予防対策への温度は下がってきており、むしろ施設には入りやすくなってきている。潤沢な検査キットや用品の準備ができない中、昨年度から試している様子観察を中心とした感染者対応を次年度もさらに継続発展させルール化することで業務継続計画を更新していく。

また、感染症への心配から施設行事や地域交流は減少したままである。今までのやり方にこだわらず、規模や対象を考慮しつつ再開していき、「あじさい」を知っていただく機会や入居者の楽しみの機会を取り戻す必要がある。

入居者やご家族のありようも様々であり、それぞれの入居者ごとの様子や変化に気づき対応できるよう、研修や職員会議を通じて意識向上や能力向上に努めていく必要がある。

また、その事に気付くことができるよう、普段の入居者との関係づくりに努めていく。

物価高騰は引き続き継続しており人件費も高騰する中、収入は公定のものである性質からさらに厳しいコスト管理が求められる。また、開設から年数も経ち、今年度多くの修繕費、購入を行ったが、施設備品の劣化が目立ってきており適切な修繕対応の必要性は高いままである。空床をできるだけ減らし、かつ適切な支出を行うことをさらに継続していく必要がある。

また、併設介護保険事業の再編について、今年度から委員会を立ち上げ、検討を進めている。あじさい全体の対応力、介護力をあげていきたい。

これらのことで、入居者・ご家族・職員が安心できるあじさいを継続的に運営していく。

3. 令和7年度 ケアハウスあじさい 事業報告(資料)

(1)平均年齢

R8.3.31

年齢	人数	平均年齢	最高齢	最低齢
男性	9	83	93	73
女性	27	84	92	70
計	36	84		

男女別年齢状況

年齢	男性	女性	合計
60～69	0	0	0
70～79	4	4	8
80～89	4	18	22
90～	1	5	6
合計	9	27	36

(2)入退居月別推移

月	入居	退居	退居理由	退居先
4	2	0		
5	0	1	高齢によるADLの低下と認知症の進行	特養
6	0	1	精神疾患の悪化	慈圭病院
7	0	1	病状の悪化により逝去	
8	0	0		
9	3	1	高齢によるADLの低下	病院入院中
10	0	1	高齢によるADLの低下	老健
11	2	1	高齢によるADLの低下と認知症の進行	老健
12	1	1	病気の進行・認知症の進行	特養
1	1	0		
2	0	2	高齢によるADLの低下と認知症の進行・老衰による逝去	特養
3	0	0		
合計	9	9		

(3)介護保険サービス等利用状況(累計)

訪問介護

事業所名	R6	R7
あじさい	26	23
ひまわり	3	2
サンキ・ウエルビー	1	2
ちやいむ	2	1
あゆむ	4	3
かるがも	1	1
ももの木	1	0

訪問看護・リハビリ

事業所名	R6	R7
たんぽぽ	0	0
佐藤病院	1	1
あーくす	1	0
アミューズ富永	1	1
ひだまりの里	0	1
慈圭病院	0	2
まいんど	1	0

デイサービス・デイケア

事業所名	R6	R7
ふるさと	10	11
愛光苑	1	1
どるちえ	5	6
アルフィック十日市	1	1
アイル岡南	1	1
塚崎整骨院	1	0
健リハビリ	2	0
リファイン	3	5
西市	1	0
ムーブメントプロ	1	1
ツクイ	4	5
やすらぎ	2	0
あゆむ	1	1
フロアール	2	1
創心会	1	1
ほがらか	2	3
なみき	2	1
かるがも	1	1
あおえ	1	1
万倍の里	0	1
うららか	0	1

(4)要介護度

	R6	R7
自立	3	4
要支援1	5	6
要支援2	6	3
要介護1	12	11
要介護2	6	9
要介護3	2	2
要介護4	2	1
要介護5	0	0

(5)受診医療機関診療科目

診療科名		
内科	心臓外科	整形外科
呼吸器科	精神科	眼科
循環器科	心療内科	耳鼻科
泌尿器科	歯科	皮膚科

(6)救急・事故及び苦情解決状況

救急・事故

救急	1件	転倒 1
事故報告	20件	転倒 16、誤薬 1、薬渡し忘れ 3

苦情解決

日 時	苦情内容	解決策・結果
0件		

(7)入院状況

性別	理由	入院先	入院～退院
女性	リハビリのため	岡山リハビリテーション病院	R7. 3. 11～5. 10
女性	心不全・肺炎	労災病院	R7. 3. 6～4. 11
男性	精神的不安定	慈圭病院	R7. 3. 10～6. 20(退居)
女性	肺炎	セントラルシティ病院	R7. 5. 19～6. 30
女性	左結石性腎盂腎炎	労災病院	R7. 5. 20～6. 30
男性	腰痛・病状の悪化	セントラルシティ病院	R7. 6. 2～7. 17(逝去)
女性	右鼠径部せつ	労災病院	R7. 6. 24～7. 9
女性	肺炎	労災病院	R7. 6. 25～7. 17
女性	体調不慮	セントラルシティ病院	R7. 7. 27～9. 16(退居)
男性	慢性心不全	労災病院	R7. 8. 1～10
女性	リハビリのため	博愛会病院	R7. 8. 25～10. 28
男性	腎不全・心不全・肺炎	労災病院	R7. 11. 6～29
男性	リハビリのため	博愛会病院	R7. 11. 29～12. 16(退居)
男性	療養入院	かとう内科診療所	R8. 1. 10～2. 28(逝去)
女性	带状疱疹	日本赤十字病院	R8. 1. 13～21
女性	自己免疫性溶血性貧血	労災病院	R8. 1. 13～2. 18

(8)入居相談状況

①相談方法別(件)

電話	来舎見学
13	8

②相談者別(件)

本人	家族	関係機関	その他	合計
3	10	5	3	21

(9)研修

外部研修	日付	研修内容
感染症対策研修	11月25日	高齢者施設における感染症の理解と対応
身体拘束廃止研修	8月5日	虐待・身体拘束防止(基礎編)
	9月24日	虐待・身体拘束防止(実践編)
事故防止対策研修	10月14日	介護現場で役立つリスクマネジメント
	12月5日	ケア場面での気づき
虐待防止研修	7月30日	コミュニケーション技術の向上
	1月20日	介護福祉士が知っておくべき虐待の基本

認知症研修	8月26日	認知症の理解
	10月22日	介護職員のための認知症ケア研修
その他	11月11日	現場で使えるユニバーサルスポーツ
	2月5日	福祉施設の災害対応と防災マニュアルの作成
	2月26日	医療・福祉現場における職員のモチベーション維持

内部研修	日付	研修内容
感染症対策研修	6月24日	防護服の着用の仕方と嘔吐物処理の方法
ハラスメント	3月18日	職場の雰囲気作りと新人研修

(10)趣味・余暇活動実施と評価

活動名	実施日	内容	総評価
あじさい喫茶	9月	敬老会(夏祭り風屋台 & カラオケ)	感染症の収まりもあり、入居者の希望の多かったカラオケの催しを行い楽しんでいただけた。時間の制限もあり、十分な内容では無かったため今後もカラオケ喫茶を計画し、また、その他にも楽しんでいただける喫茶を企画していく必要を感じた。
押し花教室	毎月1回	フォトスタンド、ミニ色紙、コースター、しおり、ハガキ	コロナも落ち着き、毎月開催できるようになったが、参加者が限定されておりマンネリ化が課題であった。作品作成後には、お茶を飲みながらの展示会を行い、やり甲斐に繋がればと毎月展示品を更新する事とした。また参加者を募り、新しく2名が加わった事で雰囲気や話題にも変化を持つ事ができた。
いきいきクラブ	4月	アンケート	地域の方の協力でギター演奏で歌う会を企画し、多くの人に参加いただき喜んでいただけた。コロナ禍でなかなか出来ていなかったおやつ作りを数年ぶりに行った。入居者同士が一緒に作って食べることで普段の食事の時とは違ったコミュニケーションや会話が生まれた。
	5月	ウォーキング	
	6月	ストレッチ体操・輪投げ大会	
	7月	ストレッチ体操・ギター演奏で歌う	
	8月	ストレッチ体操・脳トレ	
	9月	折り紙	
	10月	ウォーキング(深山公園)	
園芸クラブ (草花)	園芸クラブ (押し花)	施設周辺に季節の草花を植え、散歩コースを造る。珍しい植物を植えたり、草取りもし、入居者と共に話題づくりをする。また、近隣の方々にも楽しんでいただけるような花を植える。	植物の成長を見ることで季節感を味わっていただけた。庭にできた季節の草花を入居者の方と一緒に摘み共用スペースや居室に飾り、入居者にも喜んで頂けた。お元気な入居者で草抜きや枯葉集めを積極的に行う方がいて助かっている。桜の木やあじさい他、季節の花を見ていただけるように整地し写真を撮りに来られるなど楽しんでいただけた。
園芸クラブ (野菜)	園芸クラブ (野菜)	季節に応じてアスパラ・大根・さつま芋を植えつけ収穫する。又、収穫した野菜はそのまま、或いは加工しふるさと祭りなどで販売することで入居者の作業意欲へと繋げることを目的としている。	今年度も昨年度と同様アスパラやサツマイモなどを作ることができた。収穫した野菜は芋煮会やバーベキューの食事に使っていただき、季節の旬な野菜を食べていただくことで入居者に喜んでいただけた。
おでかけでえ	毎週月曜日と不定期	スーパーへの買い物援助、近隣の催し物(希望外食・講演会など)外出計画援助	週1回の近隣スーパーへの買い物援助については予定通り行えた。催し物などの外出について、今年度は気候の良い時期が少なく、入居者が外出に意欲的ではなかったように感じた。

(11)行事・交流事業・各会議実施状況

月	日	行 事 名 内 容	日	地域交流行事	会 議
4	1	健康診断	27	子ども食堂	企画運営会議
	2	消防設備の点検			サービス調整会議
	4	お花見食事会(1・2棟)			給食委員会
	17	演奏会			感染症対策委員会
	25	茶話会			身体拘束廃止委員会
5	11	母の日の贈り物	18	子ども食堂	企画運営会議
	23	いきいきクラブ			サービス調整会議
	28	昼食出前食事会			給食委員会
	29	演奏会			
	31	茶話会			
6	15	父の日の贈り物	8	地域一斉清掃	企画運営会議
	20	いきいきクラブ	14	浦安祭り会議	サービス調整会議
	24	避難訓練	15	子ども食堂	給食委員会
	25	茶話会			
7	6	七夕飾り	5	浦安祭り会議	企画運営会議
	17	演奏会	20	子ども食堂	サービス調整会議
	29	茶話会			給食委員会
	31	いきいきクラブ			身体拘束廃止委員会
8	28	茶話会	19	キッズチャレンジ教室	企画運営会議
	28	いきいきクラブ			サービス調整会議
					給食委員会
					感染症対策委員会
9	2	健康診断(深夜勤務者)	13	浦安学区祭り	企画運営会議
	16	いきいきクラブ	29	子ども食堂	サービス調整会議
	19	敬老会&屋台風喫茶			給食委員会
	25	茶話会			
10	6	お月見会	5	浦安荘コンドル祭り	企画運営会議
	14	消防設備の点検	11	白鳩保育園運動会	サービス調整会議
	17	いきいきクラブ	26	子ども食堂	給食委員会
	28	ミニ運動会&芋煮会			身体拘束廃止委員会
	31	茶話会			
11	6	インフルエンザ予防接種			企画運営会議
	18	秋の小旅行			サービス調整会議
	24	茶話会			給食委員会
	25	避難訓練			
12	25	あじさい忘年会	21	子ども食堂	企画運営会議
	26	茶話会			サービス調整会議
					給食委員会
1	7	初詣	18	子ども食堂	企画運営会議
	15	とんど焼き			サービス調整会議
	26	茶話会			給食委員会
	27	ふるさと祭り&新年会			身体拘束廃止委員会
2	3	節分豆まき	15	子ども食堂	企画運営会議
	14	バレンタインの贈り物			サービス調整会議
	26	茶話会			給食委員会
					感染症対策委員会
3	3	桃の節句	14	白鳩保育園卒園式	企画運営会議
	17	いきいきクラブ	15	子ども食堂	サービス調整会議
	25	避難訓練			給食委員会
	30	茶話会			

※毎月一斉清掃を入居者さんに参加していただき行っています。

デイサービスセンターふるさと事業報告（案）

（令和7年度）

1. 基本方針

在宅で生活している認知症高齢者を対象として、可能な限り自宅で、その有する能力に応じて、自立した質の高い生活が出来るよう、プライバシーを守り、的確な支援を行っていく。また、介護者や家族の相談や情報提供に積極的に取り組み、介護者の心身にわたる介護負担や、不安を軽減し、ゆとりある介護を生み出していく。そして、このことにより、認知症高齢者の心の安定を図り、生き生きとした暮らしづくりへとつなげていく。

「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」というケアの方針を基に、画一的なケアではなく、以下の6つの方針を持って認知症高齢者一人ひとりに合った援助を行い、「情」を大切にしたいゆとりあるケアを行っていく。①独りぼっちの気持ちにさせず、話し相手があること。②適度な心地よい刺激がある。③くつろげる、家庭的な環境にある。④その環境に自分の居場所があるという実感がある。⑤強制ではなく「したいこと」ができる。⑥生きがいや出番・役割がある。そのため、介護保険の枠内だけでのケアではなく、外出支援などQOLの向上を図る為に必要な援助を積極的に実践していく。

また、地域に開かれた「ふるさと」をめざして、地域住民との交流や地域ボランティアの受け入れを他部署と連携協力し、積極的に行っていく。

2. 令和7年度重点目標に対する評価・反省

（1） 安定した運営が行えるように、利用者の確保と、業務改善に取り組む。

- ① 事業所のPR、広報活動を行う。SNSを活用し、活動内容の発信、空き状況などの情報発信を行っていき、広くふるさとを知っていただく手段とする。
 - ・ 毎月の利用状況のお知らせ、利用実績はfaxでの連絡を行い、その他連絡があれば電話での情報の交換を行っていった。又、月ごとの曜日別空き状況を合わせて連絡していった。利用状況をもう少し詳しく報告を行う、活動内容が分かる広報誌の作成を行っていきたい。
 - ・ ホームページの活用が出来なかった。新規のご紹介をいただける際、ホームページを見て連絡下さった方もおられる。日頃の様子、事業所の特徴を伝えられるようにSNSを活用していききたい。
- ② 各職員が意識を持って利用者確保に努める。
 - ・ 空き状況の問い合わせが数件あった。定員や受け入れ態勢の状況でどの曜日でも受け入れ出来る状況ではなかったが、その都度受け入れ出来る曜日をお伝えしていった。新規の居宅介護支援事業所からの紹介があり情報提供、受け入れ可能な事をお伝えしたが利用にはつながらなかった。
 - ・ 新規のご利用者様、利用回数増のご利用者様もおられたが、今年度は施設入所亡くなられたことにより利用中止になるご利用者様が例年より多く、利用人数増になかなか繋がらなかった。
- ③ 職員一人ひとりの介護技術を向上させ、効率的な人員配置を行う。
 - ・ 利用者確保の為、選ばれる事業所になる為に職員の資質の向上、援助内容の改善など、その都度行っていた。
 - ・ 職員一人一人が利用者様の事を考え、その方を想った声掛け・援助が出来るようになってきていると思う。
- ④ 経費の節約を計画的に取り組む。
 - ・ 使用していない照明を消す、浴室の冷暖房の適切な使用について取り組んだ。
 - ・ 又消耗品の購入先をその都度検討し、経費削減に取り組んだ。
- ⑤ 法人内の介護保険事業所と定期的に連絡を取り、介護保険の情報や、周辺の介護保険事業所

の情報を交換し、事業所間の連携力を高める。

- ・毎月1回定期的に実施されるサービス調整会議に参加することで、法人内の介護保険事業所との連絡・調整・連携など図れている。
- ・周辺の介護保険事業所との情報交換については、連絡を細かく取るなどして取り組んでいきたい。

⑥ 独自の自己評価（事業所及び職員個人）を実施し、意識改善、業務改善に努める。

- ・事業所の評価については、ご利用者様・ご家族へのアンケート、岡山市の自己点検シートを使い評価を行い、業務改善に努めた。
- アンケートについては、ご家族、ご利用者様から普段お聞き出来ないご意見も頂けるので、今後も継続していきたい。

⑦ 通所介護における、各種マニュアルを作成し、全職員のケアの統一に活用する。

- ・職員同士のコミュニケーションを図る中で情報の共有や、ケア方針の検討を行っていった。

⑧ リモートワークを取り入れ、事務作業の適切な実施、効率化を図る。

- ・リモートワークについては、取り入れることが出来なかった。公平化、適切化を図れる方法を考え、事務作業がスムーズに行えるよう、取り入れていきたい。

(2) 認知症の専門性と質の向上、科学的根拠(理論)に基づいたケアの重視。

- ・施設内研修に参加を行っていった。参加出来なかった職員には、研修資料を見て頂き、報告書、感想などを書いていただくようにした。
- ・情報誌を定期購読し、活動の中に取り入れていき、幅を広げることができた。
- ・外部研修への参加が出来ていないので、研修の案内、研修に参加しやすい方法を考え、参加率を上げていきたい。
- ・今年度、胃ろう、喀痰吸引が必要なご利用者様を受け入れるにあたり、介護職員が喀痰吸引等研修を受講し事業所登録を行った。

(3) 特色(専門性)のあるサービスを実践し、地域から信頼される事業所にしていく。

① 職員間のコミュニケーションを積極的に行い、小規模ならではの家庭的な雰囲気大切に「ふるさと」で安心して過ごして頂き、利用者が継続して在宅生活を続けていけるような支援を行っていく。

- ・職員個々が利用者の事を考え、安心して過ごして頂けるのにはどう支援を行っていったらよいのか検討を行いながら支援する事が出来ていると思う。

実施するに当たっては柔軟な対応が出来る職員の確保や通常の営業時間帯の職員数確保、安全な環境など様々な問題を考え実施出来るように検討を行う。

② 「ゆっくり」、「一緒に」、「楽しく」、そして「その人らしさ」を大切にしていく。

職員間で状況をみながら相談を行いながら対応を行っていった。細かい連絡事項を目につきやすいで統一出来る対応が出来るように行っていった。

- ・ ゆっくり、落ち着いて利用できる入浴環境、介護機器等を整備し、入浴困難な認知症高齢者を積極的に受け入れ、気持ちよく入浴していただく。
 - ・ 利用者ひとり一人の身体状況にあった浴室で、安全を確保しながらゆっくりと個人のペースに合わせて入浴していただいた。
 - ・ 入浴介助研修を行い、入浴環境整備、保清だけでなく精神的にリフレッシュ出来る場でもあり、その為の環境整備を考える事が出来た。
- 入浴介助マニュアルを作成し、ケアの統一を図っていった。

③ 他の事業者で、利用困難な方でも、「ふるさとなら大丈夫。」と思われるようにしていく。

- ・ 認知症対応型、少人数、個別対応ということで、今まで紹介がなかった居宅介護支援事業所からの利用、問い合わせがあった。
- そんな中でも、少人数・認知症対応型ならではの利用者を受け入れ、利用に繋げれた事もあった。

- ④ 認知症対応型通所介護事業所ならではの細やかな対応を重視し、BPSD（周辺症状）の出現を回避する為の環境整備に積極的に取り組み。
 - ・その方の性格や認知症症状に合わせ、落ち着いて過ごせる環境作りを行っていった。
 - ⑤ より安全を考慮した空間、居心地の良い場所の提供が出来るよう、必要に応じ設備・備品を検討していく。
- (4) 地域のボランティアによる余暇活動を積極的に取り入れていく。
- ① 地域の活動にも参加していき、地域の社会資源の活用を検討していく。
地域関連行事には事業所を知っていただく為にも積極的に参加していきたい。
- (5) 安全管理及び衛生管理を研究し、取り組んでいく。
- ① ヒヤリハットの考え方を事故防止に定着させる。
 - ・記録を残すという事が今年度は、行えていない。職員個々が意識を持ち、記録を残し、意識付けをするという事を改めて行えるよう実践していきたい。
簡単に記入、職員の目がつきやすいようにして、事故防止に繋がるように行っていきたい。
 - ② 認知症高齢者に対するリスクマネジメントの目的を把握し、その人らしい生活を安全かつ快適に実現出来るよう支援してく。
その人らしい生活とは奥深く、安全を重視すると本人らしい生活からかけはなれる場合があるので、その都度利用者の状態に合わせ支援していきたい。
 - ③ あらゆる感染性疾患への迅速な対応の為、職員全体が感染症マニュアルを熟知・活用し、万が一の場合にも拡大を最小限にしていく。
感染症対策においては、法人内研修に参加を行い、感染者、感染の疑いの利用者、職員が出た時にはマニュアルを活用し、対応を行っていった。
3月にコロナウイルス感染症の方が一人おられた。迅速に対応し、他のご利用者、職員に感染者はおられなかったが、常に感染症のリスクを想定し対応していく事が大事だと感じた。
- (6) 食事の提供方法を再検討していく。
- ① 出前をとるという形で、ケアハウスと合同で実施させて頂き、食事に変化を持っていただいた。
外出出来ない方、外出する事に気が進まない方もおられるので、出前という形で、ご自分で食べたいメニューを選ぶ、いつもと違った食事をするという事が出来、喜んで下さっている。
- 又、口腔内の問題で、食が進まない方もおられる。口腔ケア、嚥下、にも視点をおき、口から楽しく食事が摂れるよう様々な面からアプローチしていきたい。
- ② 担当職員が責任を持って既製品の購入やお菓子作りなど実施してきた。
昨年度に引き続き畑でさつま芋を栽培、植え付け収穫を利用者様と共に行った。収穫したさつま芋や、頂いた果物類などを使いおやつ作りを行った。
今年度は柿を沢山いただき、ご利用者様と干し柿作りを沢山作ることができた。
時期のものを食べて頂けることは、季節を感じる事が出来、健康につながるように思える。果物やさつま芋は、おやつにお出しすると好評だった。来年度も収穫したものを使ったおやつの提供やおやつ作りを実施していきたい。
おやつ代をいただいていないこともあり、ご利用者様にご負担いただきおやつの提供を提案していたが、実施することが出来なかった。ご家族からぜひ実地してもらいたいというご意見もいただいているので検討していきたい。

3. 事業内容

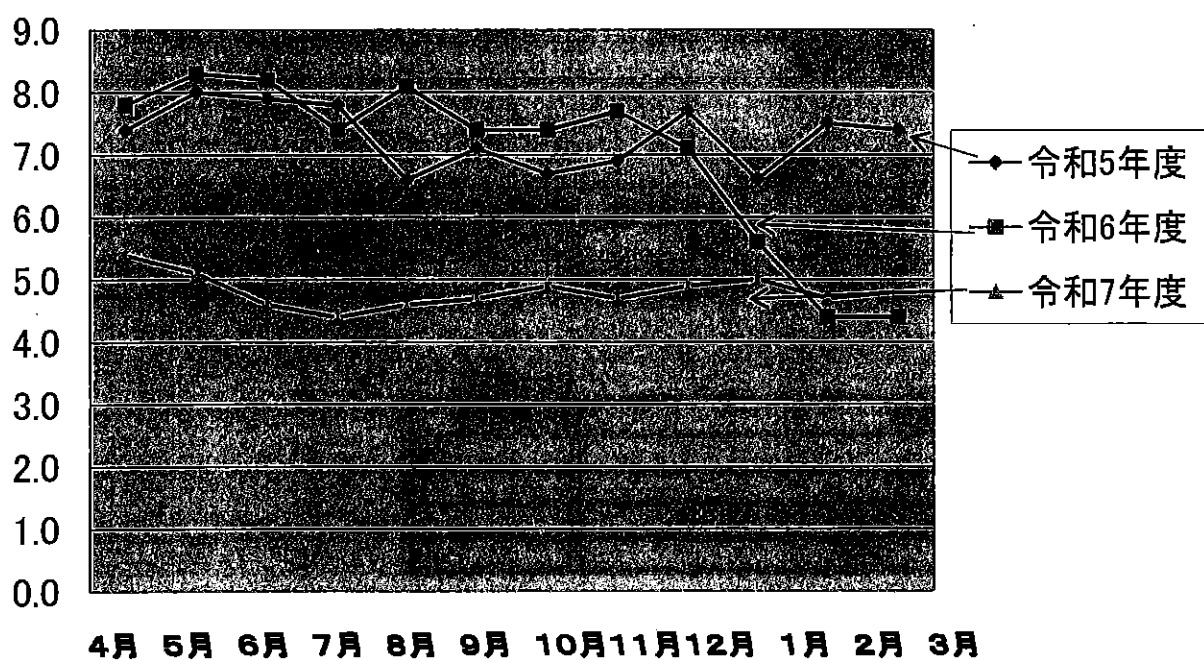
サービス内容、重点目標他についての評価・反省

- (1) アクティビティー・サービス（レクリエーション・行事・体操・機能訓練等）
 - ・行事については、年間計画を立てていたが行えていないものがあつた。行事を行い、日々のご利用の中で変化をつけていきたい。計画の仕組みを見直し、行事が行えるような方法を取っていきたい。
 - ・外出の機会が昨年度に比べると多かった。外出から帰られた後、ご利用様が「良かった。」「きれいだった。」「楽しかった。」「また連れて行ってえよ。」などのお声があり、行事の中に取り入れ継続していきたい。
 - ・機能訓練においては、看護婦主導のもと、残存時脳の維持、出来るだけ在宅での生活が継続できるよう支援を行っていった。
- (2) 送迎 家族の状況・ご本人の生活リズムに合わせ、要望に出来るだけ答えられるよう対応を行っていった。
又、自宅での排泄介助が難しい利用者に対し、お迎えに行き、そのまま来て頂き援助も行った。
今後も同様に柔軟な対応が出来るよう、サービスが使いやすいような対応を行っていきたい。
- (3) 健康チェック・感染症対策
日々の利用者の健康チェックについては、看護師により行っていった。
手指消毒、施設内の消毒、換気については、継続して行っていった。
- (4) 家族の支援 認知症を抱える御家族の精神的な介護負担は大きく、支援・サポートの必要性を感じる。送迎の際に相談やご利用の様子をお伝えし、家での様子をお聞きし、お会い出来ない場合は電話での連絡を行い、相談援助を行っていった。
運営推進会議を行いご家族に参加いただいた。ご自宅での介護のお困りごと、大変な事などをご家族同士でお話が出来、よい機会になったと思う。今後もご家族の参加をお声掛けし継続していきたい。
- (5) 事故発生 病院受診に繋がるような事故は起こらなかった。
職員の介護技術、危険予知、の面でも資質の向上の必要性がある。
- (6) 相談・苦情等 相談については、その都度担当者会議の時、送迎時、電話などで行っていった。ご家族にアンケートを取らせていただき、苦情、要望などお聞きすることが出来た。
苦情については、職員に周知、対応を行っていった。今後もアンケートを取らせていただき、ご意見を聞ける機会を作っていきたい。
- (7) 併設施設（ケアハウス）との関係・今後について
企画運営会議2とし、2棟の処遇面、各事業所の在り方について話し合っていた。
今後の方向性についてまだ定まっていないが、来年度中には方向性を決め、準備を進めていけたらと思う。
- (8) BCP（事業家族計画）
作成した内容をすり合わせ、法人内で統一していった。

令和5年度年間利用実績(資料)

	利 用 者 状 況					
	利用者人数	開所日数	月延利用人数	1日平均利用人数		
				令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	9	22	119	7.4	7.8	5.4
5月	9	22	113	8.0	8.3	5.1
6月	8	21	97	7.9	8.2	4.6
7月	8	23	102	7.8	7.4	4.4
8月	8	21	97	6.6	8.1	4.6
9月	8	22	103	7.1	7.4	4.7
10月	10	26	127	6.7	7.4	4.9
11月	9	23	109	6.9	7.7	4.7
12月	9	26	128	7.7	7.1	4.9
1月	10	22	111	6.6	5.6	5.0
2月	10	23	109	7.5	4.4	4.7
3月	9	25	121	7.4	4.4	4.8
合計	107	273	1,336	7.3	7.0	4.8

年間利用者実績
1日あたりの平均利用者数



介護度別登録数(R8.3現在)

	男性	女性	合計	(人)
介護度5		0	0	
介護度4		1	3	
介護度3	1	1	2	
介護度2		3	2	
介護度1	1	2	4	
要支援2		0	0	
区分変更中		1	0	
合計	2	8	10	
平均年齢	83.5	84.7	84.1	

行事実績表

月 日	行事名	月 日	行事名
4月4日	お花見食事会	10月28日	運動会 芋煮会
4月7～10	お花見ドライブ(ソメイヨシノ)	11月25日	避難訓練
4月17日	演奏会	11月28日	運営推進会議
5月9日	母の日会	11月25日	誕生日会
5月15～19	浦安公園散策	12月18日	誕生日会
5月28日	出前食事会	12月25日	忘年会
5月29日	演奏会	1月10日	初詣
6月16日	避難訓練	1月15日	とんど焼き
7月7日	七夕会	1月23日	誕生日会
7月9日	誕生日会	1月27日	ふるさと祭り&新年会
7月16日	誕生日会	2月3日	節分
7月17日	演奏会	3月3日	桃の節句
7月21日	誕生日会	3月7日	誕生日会
8月12～16	夏祭りレクリエーション	3月31日	運営推進会議
9月25日	誕生日会	3月25日	避難訓練
9月19日	敬老会&屋台風喫茶	3月26～28	お花見ドライブ(河津桜)
10月15日	誕生日会		

上記以外日常的に行っている活動

脳活性療法	ドライブ	ボールレク	洗濯物たたみ	計算プリント	風船バレー
回想法	ちぎり絵	散歩	うた・カラオケ	音楽鑑賞	パズル
かるた(ことわざ)	塗り絵	体操(棒・玄米)	R. O	ビンゴゲーム	日記つけ

登録利用者の状況

①ケアマネージャーの状況

R7.3現在

居宅介護支援事業所	利用者数
福文舎	8
支援センターちやいむ	1
サンキ・ウエルビー居宅介護センター岡山東	1
合計	10

令和7年度ヘルパーステーションあじさい事業実施報告

1. 事業内容

訪問介護及び予防訪問介護・日常生活総合事業の月間登録者数は、54～61名で登録者数は上昇傾向、保険外自費サービスの月間利用登録者数は、3～5名で増減がありませんでした。

ヘルパー職員の人員の変動があったが大幅な増加ということにもなっていない。ケアハウス入居者利用者数は20名前後で、新入居者された方や入居していた方が利用開始となったケースもあり微増となっている。昨年同様で、地域利用者数が多いのが現状。

管轄である岡山市からは、『施設内の訪問のみしている事業所があるようだが、地域貢献として積極的に地域への訪問に出てください。』と、集団指導で連絡あり。訪問依頼があれば、ケアハウス施設内外に関わらず、対応している状況である。(資料①・②)

新規で利用者を紹介してくださる居宅事務所は、福文舎居宅支援事業所以外からもあり、依頼のある居宅事業所は、主に、南区南地域からの問い合わせが圧倒的に多い(資料④)数年前依頼のあった事業所より紹介・依頼があるなど、様々な居宅事業所から問い合わせいただいている中、前年同様、利用者宅がヘルパーステーション事務所から遠いという理由で断ることはしておらず、対応可能な内容や利用希望時間前後の関係で訪問可能であればお受けしてきた。又、これまでの実績により、いわゆる困難事例利用者への訪問相談件数も多いが、訪問の判断基準として、利用者様自身がどういったサービスを求めているのか、担当する居宅や後見人様がどのような生活をしていただきたいと思っているのかをよくお聞きした上で、なるべく偏見の目を持たず、慎重に判断してお受けし対応してきた。

ケアハウス入居者の利用してくださる方は、掃除・洗濯といった生活援助週1回程度での利用が依然として多い。同一敷地内建物減算という計算方法で、地域の訪問対し減算があるものの、出来にくい部分のみヘルパーに委ねることで、心身の安定した生活が送れておられているようで、入居者様は長期に渡り利用してくださるため、安定した収益も見込まれるため、可能な限りお受けしている。

地域利用者に関しては、浦安地域の利用者数が少ない。地域貢献として地域に馴染む事業所として可能な限りお受けしていきたいと思っているが、日時指定やヘルパー配置などで希望に添えずお受け出来ていない状況を大変残念に感じている。

要支援者においては生活支援訪問サービス(いわゆる家事支援)での依頼がほとんどである。日常生活支援総合事業の生活支援サービスの対応をしないヘルパー事業所が多く、依頼が集中している状況に変わりはなく、生活する上でお困りであれば、収益が少ないが、こちらも可能な限りお受けしたく、依頼内容とヘルパー配置の可否で対応の有無の判断をしている。

要介護者については、自立支援を目的とした身体介護を含めたサービスを居宅に依頼し、1件あたりの単価をあげることに努めている。ケアハウス入居者対応時には、事務所と同敷地にあることで、移動時間の関係上、訪問時間・回数のご希望に沿いやすい。また、利用期間が安定し長期間であるため、可能な限りお受けしてきた。地域利用者については、移動時間を加味して訪問時間を検討する必要あり、訪問先の場所によっては、ヘルパーの人選も必要にもなるため、お受けできる日時が限られてくるが、今後も身体介護・生活援助に関わらず対応出来るヘルパーの有無でお受けする体制を取っている。年度後半になり、体調不良にて思いもよらず長期入院となった方が続出。また、急激な体調悪化で急に逝去され、登録者数減という状況にみまわれた。ヘルパー数減員もあり、利用者獲得のための営業活動も十分行えず、利用者数回復ための対応が取れなかったことは大きく反省すべき点だと感じている。(資料⑤)

本年度も、困難事例の依頼もあった。介護拒否がある・セクハラ傾向など事例は個々によるが、「あじさいさんなら対応してもらえる」とご連絡をいただくため、今後も可能な限りお受けしたいが、こういった利用者への対応は、ヘルパーの経験や対応力や判断力も必要で、ヘルパー配置も慎重にならざるおえないため、全ての依頼を受ける事は叶わない。対応出来るヘルパーを増やすために、キャリア形成訪問指導事業や事業所内研修を利用してヘルパーの育成に努めてきた。

介護保険外自費サービスにおいては、昨年度に比べて利用件数が随分減っている。前年度は、自宅で飼っているペットのお世話や同居家族がいることで、介護保険導入が出来かねる家事支援など、定期的に対応しないと本人様の生活が成り立たないことでの定期利用が多かったが、本年度は、ペットが自宅に居なくなる（老犬ホームへ入れる）、利用者様自身が施設入所されるといった状況があった上、新規利用者獲得を積極的に行っていなかったため、登録者数が増えなかった。（資料③）

自費サービスの料金については、他事業所に比べ安さを売りにしてきたが、料金のみの比較ではなく、現状の利用状況を再考した。自費サービスの利用経緯においては、安さもさることながら、介護保険と同じ事業所のヘルパーさんに対応してもらいたいと思われている利用者様が多く、利用料金を値上げしても「同じ事業所で対応してもらいたい」と思われる方が一定数居られる状況であるため、昨今の物価高騰も踏まえ、来年度は、自費サービス料金の値上げを行っていきたいと考えている。

キャンセル料について、これまでキャンセル料は徴収していなかったが、急な中止においては、対応予定であったヘルパーへの配慮が必要になってくる。こちらに関しても、他事業所の現状調査を行った。徴収しない事業所もあったが、条件を決め徴収している事業所も多くあったため、当方で対応可能な条件を定め、トラブルがないよう努め、キャンセル料の徴収を行う方向で熟考していきたい。

看取り期の訪問対応があった。利用者様の状況から段々と「終末期」に近づいていることは対応しているヘルパー同士で把握が出来ていた。そのため、ヘルパー同士・ヘルパー会議などで、「今行っているサービスは適切なのか」「本人様の要望に沿えているのか」「もっと対応出来る事はないか」といったことを日々話し合い対応に努めてきた。最期を迎え、サービス終了後には、直接ケアを行っていないヘルパーも交え、適切なサービスを行えたか、その方の人生の最期に寄り添えたか、といった反省・検証を行い振り返ることで、今後の利用者様に対して生かしていけるようにしている。ご逝去された後では、本人様からの答えは頂けないが、懸命に精一杯の対応を行っていることで、おそらく、本人様にもご家族様にも満足していただけた訪問対応を行っていると感じている。看取り期を迎えた利用者また支えている家族の真の要望は何か、またどのように接すればその人らしい最期を迎えることが出来るのか、体調に変化がないか、訪問看護や訪問診療への連絡はいつすべきかなど、自分の持っている知識をフル稼働させながら対応にあたることや本人への告知の有無で対応も異なりまた、利用者本人だけでなく家族へのケアも必要となってくる。看取りケアは、ヘルパーにとって心身をすり減らし気持ちの切り替えに時間を要するため、責任者としても様々なフォローにより時間や労力も使うが、こういった経験をする中で、自主性や知識を深めることが出来、また、質のよいヘルパーが育つ機会にもなる。利用期間も短いため収益には繋がりにくいですが、今後も意識的に依頼を受けていきたい。ヘルパーステーションあじさいに相談しようと思っていただけのような気持ちをこめた支援を日頃から行うことで居宅支援事業所等と信頼を今後も築いていきたい。

移送サービスについては、令和3年6月より有償運送を実働開始している。岡山市のホームページに記載されているので、利用希望のご本人様やパソコン・スマホを扱えるご家族からも直接問い合わせ連絡があり、居宅事業所からの連絡問い合わせは時折ある。ケアハウス入居者への対応を主の目的といていたが、地域の方々からの連絡も、一定数ある。運転者が限られていることや人件費の問題もあり、問い合わせの方々に全て対応出来ないが、利用者様の安全で安心出来る移動ツール

として、可能な限りお受けしていきたいが、収益を考えれば、現在の介護保険訪問介護事業を優先したいと考える。利用者の満足度を考慮すると、継続した運営を続けていきたいが、収益の低さからもどかしさを感じながら、運営しているのが実情である。

2. 活動内容

① 事業内容

身体介護においては、可能な限りお受けし対応させていただきたいと思っているが、依頼が少ないのも現状である。身体介護のみしか受けないといった事業所もあるようで、生活援助のみでもお受けしていたが、単価が低いと、可能な限り自立支援を目的とした身体介護を含めたサービスを提案し、単価を上げるよう努めてきた。生活支援においては、初回訪問開始時に決めた訪問回数に大きな変化がなく、家事支援を担うことで安定した生活を送れている方が多いようである。

現在、在籍のヘルパーで、対応可能な時間帯を当て込み、訪問を行っている。急な入院・施設入所により、突然訪問先がなくなることもあるが、長い期間をおかず、訪問依頼のお声掛けをいただいている。ヘルパーの定着のためにも安定した訪問件数の確保は常に課題である。

保険外自費サービスに関しては、依頼から具体的に何がしてほしいか明確な場合が多いため、各ヘルパーの得意分野を生かした配置をしている。いかにその人らしい暮らしを支えることが出来るか、どういった依頼もお受け出来る事業所体制を今後も整えていきたい。

又、どんなニーズにも対応出来るヘルパーの育成が必要と思われるため、積極的に研修への参加を促してきた。

あらゆる状況で、どういったサービスでも長く在宅生活で暮らしていただけるよう生活環境・家族状況体調変化にもいち早く気付けるよう、サービス提供責任者からは的確な指示を行うこと、又、各ヘルパーには利用者に生活や生命を預かっているという意識付けを行い、ヘルパー間でも情報を共有し、知り得た情報を責任者へ確実に報告することを徹底していくことで、長期定期に安定した生活を支えていけるのではないかと考える。

② 研修

新型コロナウイルス・インフルエンザなどの感染症の状況に変化あり、対面研修・web研修選べるようになった。しかし、本年度も訪問対応優先により施設外の研修に参加出来なかった。事業所内研修、また福文舎施設内研修外部講師研修は積極的に出席した。外部講師研修は、最新の制度の動向や介護・技術情報を知り得ることが出来るうえ、少人数参加のため、積極的に質問が出来、有意義な学びの場になっている。施設外の研修については、他事業所の利用者状況・経営状況など情報交換が出来るため、来年度は参加を促していきたい。事業所内研修については定期購読させていただいている資料を上手く活用しながら、研修を行ってきた。制度改正についての勉強や考察力・観察力・予測力を養うための机上研修も積極的に行っていきたいと思っている。(令和7年度実施報告参照)

個々のヘルパーが、スキルアップのために必要な個人的参加希望の研修があれば、状況に応じて勤務調整を行い、しっかりと学べる環境を整えていく方針も継続していきたい。

③ 各関係機関との連携

居宅介護支援専門員（以下ケアマネージャー）との連絡調整が、主になってくる。利用者の担当するケアマネージャーに、訪問時の変化や要望を、随時、報告連絡し合うことは、出来ている。常に利用者の状態を観察・把握することで、利用者のニーズ把握に努め、利用者を支える「チームケア」の一員であることを意識し、適切な情報提供を行ってきた。これからも、より

利用者の立場になって支援していけるようケアマネージャーの言葉にも真摯に向き合って、個々の利用者様の対応に望んでいきたい。

サービス提供責任者2名にて、電話転送サービスを利用して各所からの相談・問い合わせをいつでもお受けできる体制にした。これにより、新規依頼への応答が素早くスムーズに行えるようになった。

④ ヘルパーの健康管理及び衛生管理

インフルエンザ予防や新型コロナウイルス感染症予防対策を軸として感染症対策は継続して行ってきた。今後も同様な対策を取っていききたい。ヘルパーと利用者に対しては、マスク着用の継続を徹底し、必要に応じての手袋着用・使い捨てエプロンの使用、手洗いや手指消毒の徹底を呼びかけてきている。

これまでも、職員へは、感染予防対策を心がけるよう呼びかけてきたが、自身の健康管理を行った上で、より一層の感染予防対策の徹底を再度認識してもらっている。

各利用者宅で身に着けるエプロンや衣類が、不衛生にならないよう清潔に努めていく。

インフルエンザ等感染その他の感染症を受けつけない又持ち込まない、持ち出さないといった媒体にならないよう健康管理や衛生管理を徹底する。

⑤ 損害賠償

本年度、賠償を行ったケースはあった。ヘルパーが気を付けていても、「落とした」ことで破損に至ったケースがあった。日ごろから利用者様への丁寧な対応があったからこそ、大きな問題にはならなかった。対応するヘルパー個々が、心身を常に律することで破損・修繕件数をなくしていかなければならない。

⑥ 災害時の対応

本年度、7月末に他県で地震があり、岡山南地域へ津波警報・避難指示発令があった。この時に、避難指示の出た地域にお住まいの利用者様に連絡を取り、近隣状況や安否確認を行った。今後もいつ起こるか分からない災害時の対応は、冷静に的確に行っていきたい。

3. 令和7年度ヘルパーステーション実施状況（別紙参照）

4. 介護度・月別利用者数（別紙資料①）

ケアハウス・地域利用者数（別紙資料②）

自費サービス利用時間数・収入・人数（別紙資料③）

関係する居宅介護支援事業所（別紙資料④）

訪問内容別利用回数（別紙資料⑤）

令和7年度 ヘルパーステーション実施報告

ヘルパー事業・施設関係		研修・会議		新規・更新サービス担当者会議他	
月	日	内 容	日		日
4	1	春の健康診断	16	企画運営会議	2
	4	お花見食事会		サービス調整会議	21
		訪問問合わせ3件		感染症対策委員会	24
			30	ヘルパー会議・ケース検討会	25
				(集団指導内容確認・制度について)	28
				(医行為でないと考えられる行為)	
				(ハラスメントについて)	30
5	28	出前食事会	21	企画運営会議	7
		訪問問合わせ1件		サービス調整会議	
				ヘルパー会議・ケース検討会	8
					16
6	8	浦安町内一斉清掃	11	企画運営会議	2
	24	避難訓練(1棟夜間想定)		サービス調整会議	13
		訪問問合わせ3件		ヘルパー会議・ケース検討会	20
		有償運送問合わせ1件		(感染症対策について)	24
			24	感染症対策研修会	27
7		訪問問合わせ4件	16	サービス調整会議	15
	*	津波警報発令あり (避難指示あり)	23	企画運営会議	28
				ヘルパー会議・ケース検討会	29
				(食中毒予防)	
			27	介護保険事業所検討会	
			30	キャリア形成訪問事業	
8				(虐待防止に対して)	
		訪問問合わせ3件	5	キャリア形成訪問事業	6
				(身体拘束防止)	20
			20	企画運営会議	
				サービス調整会議	21
				感染症対策委員会	30
				ヘルパー会議・ケース検討会	
				(服薬について・ドライスキン)	
9				(精神疾患患者への対応について)	
			26	キャリア形成訪問事業	
				(認知症への理解・当事者来訪)	
	2	宿直者健康診断	17	企画運営会議	2
	13	浦安町内祭り参加協力		サービス調整会議	24
	19	敬老会	23	ヘルパー会議・ケース検討会	26
		訪問問合わせ5件		(ヘルパーの癖・記録の書き方)	
10			24	キャリア形成訪問事業	
				(身体拘束防止)	
			29	介護保険事業所検討会	
	5	コンドル祭り参加協力	15	企画運営会議	1
	6	お月見会		サービス調整会議	2
		訪問問合わせ3件		ヘルパー会議・ケース検討会	3
		有償運送問合わせ1件	19	感染症対策委員会	21
11			22	キャリア形成訪問事業	24
				(認知症ケア)	27
			24	キャリア形成訪問事業	28
				(リスクマネジメント・事故防止)	
	13	インフルエンザ予防接種	19	企画運営会議	6
	25	総合避難訓練		サービス調整会議	21
		訪問問合わせ4件		感染症対策委員会	27
12				介護保険事業所検討会	
			22	キャリア形成訪問事業	
				(感染症への理解)	
			26	ヘルパー会議・ケース検討会	
				(ヘルパーのメンタルケア)	
				(利用者の生活歴を知る)	
	25	忘年会	2	ヘルパー会議・ケース検討会	1
		訪問問合わせ2件	3	キャリア形成訪問事業	23
		有償運送問合わせ1件		(ケア場面での事故予防)	
			17	企画運営会議	
				サービス調整会議	
			23	介護保険事業所検討会	

1	15	とんど焼き	14	企画運営会議	14	更新サービス担当者会議
	27	ふるさと祭り・新年会		サービス担当者会議	16	内容変更サービス担当者会議
			21	ヘルパー会議・ケース検討会		更新サービス担当者会議
				(プライバシー保護)	21	内容変更サービス担当者会議
2				介護保険事業所検討会		
	3	豆まき	5	キャリア形成訪問指導事業研修	6	新規サービス担当者会議
		訪問問い合わせ2件		(災害時の対応)		更新サービス担当者会議
			18	企画運営会議		内容変更サービス担当者会議(終末期)
				サービス担当者会議		
			25	キャリア形成訪問指導事業研修		
				(職員のモチベーション維持)		
3			27	ヘルパー会議・ケース検討会		
				(事故防止・原則医行為でない行為)		
	25	避難訓練(1棟想定)	5	集団指導	24	更新サービス担当者会議
		訪問問い合わせ2件	18	企画運営会議	25	新規サービス担当者会議
		有償運送問い合わせ1件		サービス担当者会議		内容変更サービス担当者会議
			20	ヘルパー会議・ケース検討会	26	更新サービス担当者会議
				(精神疾患利用者への対応)		
				(事例Q&A)		
				(洗濯支援について)		

実績数

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	16(14)	15(14)	16(14)	14(12)	14(14)	14(14)	16(13)	16(13)	16(14)	15(14)	15(15)	16(17)
要介護2	8(8)	10(8)	7(7)	7(6)	8(5)	7(8)	8(8)	8(8)	8(6)	8(4)	8(6)	8(8)
要介護3	4(5)	4(6)	5(6)	5(7)	5(7)	5(7)	4(7)	4(6)	8(7)	3(6)	3(6)	2(4)
要介護4	4(0)	3(1)	3(1)	3(1)	2(1)	3(1)	3(3)	3(4)	3(4)	3(4)	2(4)	2(4)
要介護5	1(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(1)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(2)
要支援1	11(6)	10(7)	11(7)	13(9)	12(10)	12(11)	12(11)	12(11)	11(11)	9(11)	10(10)	11(11)
要支援2	6(8)	8(8)	8(8)	10(8)	10(6)	12(8)	13(7)	13(7)	14(7)	14(7)	10(7)	12(6)
事業対象者	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	50(43)	51(45)	51(44)	53(44)	52(44)	53(50)	56(49)	57(47)	57(48)	55(46)	51(48)	51(52)
* 請求保留分あり、資料①と利用者数同数でない月あり。												
ケアハウス・地域別利用登録者数(資料②)												
月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護給付												
ケアハウス	15(14)	15(14)	16(14)	15(13)	16(13)	17(13)	18(13)	17(14)	16(13)	16(14)	16(15)	16(16)
地域	19(16)	20(17)	19(17)	16(14)	16(17)	17(19)	15(19)	15(17)	16(17)	14(17)	13(19)	12(22)
予防給付												
ケアハウス	2(2)	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)	3(4)	3(3)	3(3)	3(3)	3(2)	2(2)
地域	15(12)	15(13)	16(13)	20(13)	20(15)	22(15)	22(16)	22(15)	22(15)	21(15)	21(15)	22(16)
自費のみ	4(5)	3(5)	3(5)	3(5)	3(5)	3(5)	3(4)	3(4)	3(4)	3(4)	3(4)	3(4)
計	55(49)	56(51)	57(51)	57(49)	58(52)	60(55)	61(55)	60(53)	60(52)	57(53)	56(55)	54(60)

自費サードコスト利用時間数・収入・人数(資料③)

[illegible]

関係する居宅支援事業所・令和7年3月現在(資料④)* ()は前年度

居宅介護支援事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
福文舎居宅介護支援事業所	91(90)	89(97)	65(98)	56(88)	48(86)	53(83)	68(71)	69(68)	66(72)	65(79)	57(76)	88(66)
在宅介護支援センターなみき	127(114)	124(120)	125(128)	119(133)	126(143)	115(139)	120(124)	83(136)	92(125)	78(120)	72(127)	52(135)
岡山南地域包括支援センター	54(51)	59(52)	55(50)	60(46)	60(44)	58(43)	69(53)	73(42)	71(42)	65(51)	65(47)	76(44)
リファインケンケアプランセンター	272(314)	272(335)	245(343)	235(332)	234(329)	226(326)	257(320)	225(295)	229(281)	206(280)	194(288)	216(287)
あゆむ介護相談事務所												
博愛会居宅介護支援事業所												
アミューズ富永居宅介護支援事業所福富												
ういら居宅介護支援事業所												
在宅介護支援センターちやいむ												
佐藤病院居宅介護支援事業所												
アミューズ富永ケアプランセンター												
南岡山ナーシングホーム在宅介護支援センター												
計12事業所(昨年は10事業所)												

訪問内容別利用回数(資料⑤) * 介護給付は、同じ方に1日数回訪問も含め計算。

月(前年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
身体介護	91(90)	89(97)	65(98)	56(88)	48(86)	53(83)	68(71)	69(68)	66(72)	65(79)	57(76)	88(66)
生活援助	127(114)	124(120)	125(128)	119(133)	126(143)	115(139)	120(124)	83(136)	92(125)	78(120)	72(127)	52(135)
身体生活	54(51)	59(52)	55(50)	60(46)	60(44)	58(43)	69(53)	73(42)	71(42)	65(51)	65(47)	76(44)
計	272(314)	272(335)	245(343)	235(332)	234(329)	226(326)	257(320)	225(295)	229(281)	206(280)	194(288)	216(287)

* 予防給付は1ヶ月に何回訪問しても1回として計算

生活支援Ⅰ	11(12)	11(12)	11(12)	15(12)	15(10)	16(10)	15(9)	15(9)	15(9)	14(9)	14(9)	12(9)
生活支援Ⅱ	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)	3(2)	4(2)	4(1)	4(1)	4(1)	4(2)
生活支援Ⅲ	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
予防訪問Ⅰ	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)
予防訪問Ⅱ	3(1)	4(1)	5(1)	5(1)	6(1)	6(1)	6(2)	6(2)	6(2)	6(0)	5(0)	5(0)
予防訪問Ⅲ	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	17(15)	18(15)	19(15)	23(15)	25(13)	25(13)	24(13)	25(13)	25(12)	24(10)	24(10)	22(11)

* 自費サービスの人数内訳

身体介護	1(3)	1(3)	1(2)	0(2)	1(0)	0(2)	1(1)	2(3)	2(1)	1(3)	1(0)	3(1)
生活援助	2(6)	3(5)	3(6)	2(8)	2(4)	2(4)	3(6)	2(6)	2(6)	2(3)	2(2)	3(2)
計	3(9)	4(8)	4(8)	2(10)	3(4)	2(6)	4(7)	4(9)	4(7)	3(6)	3(2)	6(2)

福文舎居宅介護支援事業所 事業報告
(令和7年度)

【事業目標取組結果】

(1)介護保険法及び関連法令に基づき、利用者がその有する能力に応じ自立した生活を送れるよう、コンプライアンス(法令順守)を徹底し、適切な居宅介護支援を提供する事を目的とする。

(取組結果)

・令和7年度は、病状悪化で亡くなったり、介護施設に入所する利用者が多く、その対応に追われ意識してできていなかった。令和8年度は新しい職員に来てもらうことができたので、指導する一方、自身の適切なケア(テキケア)を見直していこうと思います。

(評価)

・達成できたかがわかりにくい目標だったので、評価ができない。

(2)職員一人ひとりの資質の向上の為、居宅内での情報共有や事例検討会開催と共に、地域での研修にも積極的に参加、新しい情報の取得とスキルアップの向上に常に努める。

① 保険者によるケアプラン点検

② 介護支援専門員自己評価：10月

(実施結果)

①岡山市介護保険課によるケアプラン点検の実施方法が変更され、令和7年度は、以下の要件のいずれにも該当するすべてのプランが対象

(a) R7.7月～R6年.8月利用分に初回加算を算定

(b) 要介護1

(c) 主治医意見書の日常生活自立度(認知症)がⅡaまたはⅡb

にすべて該当したプランがあったため、事前に資料提出し、令和8年3月2日に電話での調査を受けた。

(評価)

・ケアプラン点検は、令和5年度、6年度に続き7年度も条件に該当し、3年続けて受けることになった。今回のケアプラン点検はケアプラン作成でわからないところや新しい解釈などを、ケアマネジャーに対して寄り添ってくれるものであって、とても参考になった。アセスメントから課題(ニーズ)の抽出してその課題をプランにつなげていく流れができているとほめていただいた。アセスメント表は、今まで自分の使いやすいものを使用していたが、令和7年度からは岡山県介護支援専門員協会の作成したアセスメント表に統一していい結果が出たと思う。

・他の目標は現在取り組み中です。

(3)民生委員、見守りネットワーク、ふれあいセンターなど地域の資源活用を行う。又、地域活動に参加し周辺住民との連携・貢献に努める。

(実施結果)

・南区南包括支援センターによるケア会議には依頼があれば積極的に出席することになっていたが、今年度は新規の依頼が少なかったからケア会議の出席依頼はなかった。

(評価)

令和8年度は包括支援センターからの依頼を積極的に受けたい。

(4)利用者のニーズにあった居宅介護支援(ケアマネジメント)の提供

(実施結果)

・介護支援専門員岡山市南区地区の勉強会に参加した。

(評価)

・介護支援専門員岡山市南区地区の勉強会には、福文舎居宅以外にさとう内科、かとう内科、愛光園、あゆむ、アミューズ、ツクイの6事業所の参加があった。話し合いの内容は、「BCPについて」、「ケアプランデータ連携システムについて」を話し合った。ケア連携連携システムを運用している事業所は「ツクイ」と「福文舎」のみだった。国は早く広めようとしているが、現場との間には温度差があるようだった。

(5)研修

(実施結果)

感染症・食中毒・・・6/24.11/25

BCP・・・2/5

虐待防止・・・1/20

身体拘束防止・・・9/24.8/5

認知症・・・8/26.10/22

介護支援専門員更新研修・・・資料3

介護支援専門員連絡協議会研修・・・資料3

在宅療養支援強化研修・・・資料3

(評価)昨年度作成したBCPマニュアルについては、法人の企画運営会議の席で介護保険サービス事業所とケアハウスですり合わせを行っている。

(6)会議・委員会

(実施結果)

感染症対策委員会・・・4/16.8/20.11/19.2/25

虐待防止委員会・・・4/16.7/23.10/15.1/14

(7)実習生受け入れ

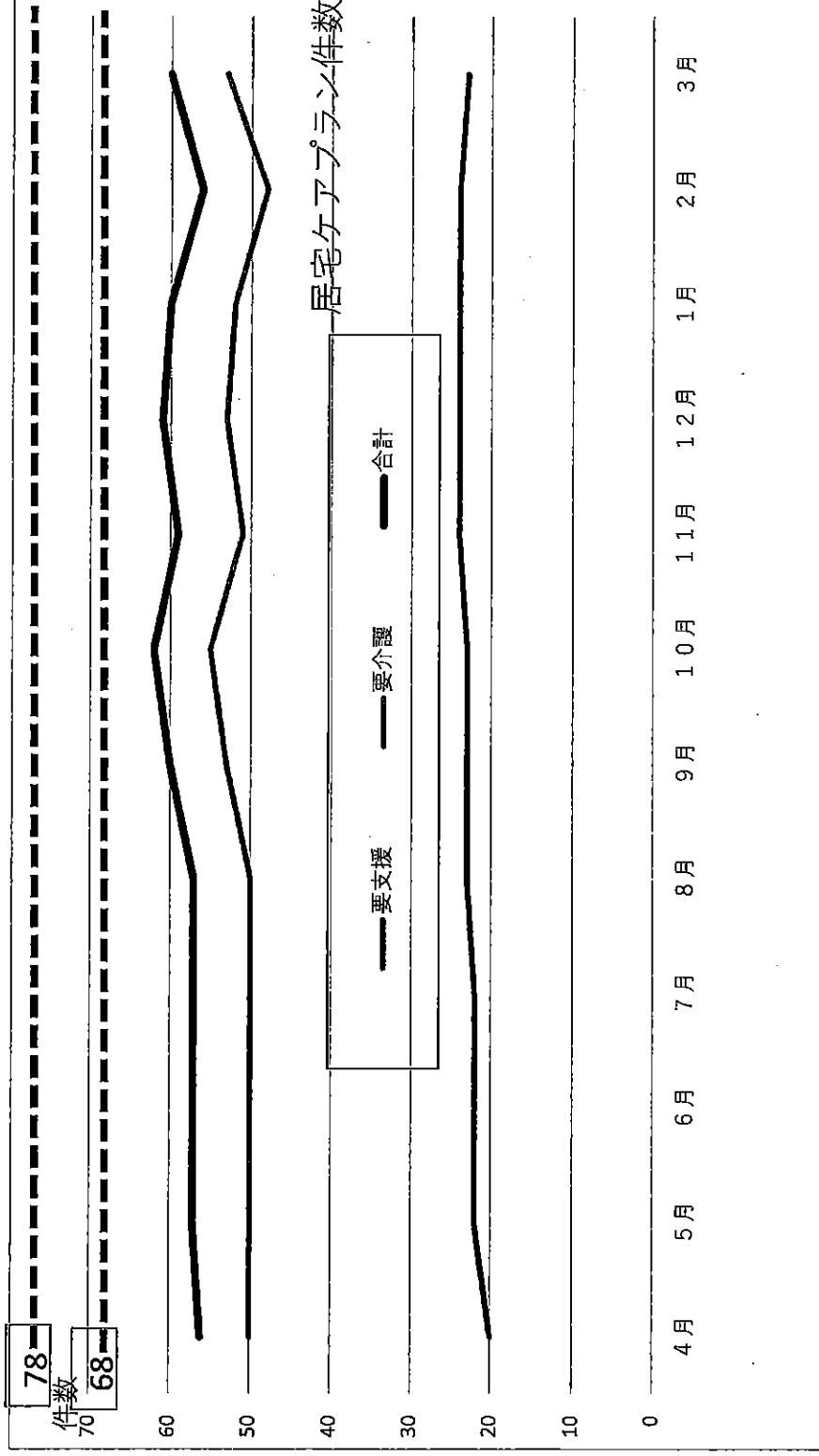
・令和6年度もケアマネ筆記試験合格者に対するの見学実習の受け入れを1名行った。その1名において、当事業所に興味を持っていただき、令和8年4月から福文舎居宅で常勤で働いてくれることになった。

(資料3) 研修参加状況

日時	研修名(場所)	参加者
令和7年6月9日	岡山県介護支援専門員協会南エリア研修	花房・福原
令和7年9月19日	主任ケアマネ更新研修第1日目(オンライン)	花房
令和7年9月25日	主任ケアマネ更新研修第2日目	花房
令和7年10月9日	主任ケアマネ更新研修第3日目	花房
令和7年10月10日	主任ケアマネ更新研修第4日目	花房
令和7年10月25日	主任ケアマネ更新研修第5日目	花房
令和7年10月26日	主任ケアマネ更新研修第6日目	花房
令和7年11月7日	主任ケアマネ更新研修第7日目	花房
令和7年11月8日	主任ケアマネ更新研修第8日目	花房
令和7年12月9日	岡山市介護認定調査員研修	花房
令和7年12月19日	令和7年度岡山市在宅医療支援強化研修	花房・福原
令和7年12月24日	介護予防ケアマネジメント研修	花房・福原
令和8年2月12日	介護支援専門員岡山市南地区勉強会	花房
令和8年3月5日	集団指導	花房

(資料2) 令和7年度ケアプラン件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援	20	22	22	22	23	23	23	24	24	24	24	23	274
1/3	6	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	7	87
要介護	50	50	50	50	50	53	55	51	53	52	48	53	615
合計	56	57	57	57	57	60	62	59	61	60	56	60	702



岡山市条例

1人34件まで

福文舎では事務員配置

により5件増やせるため、

令和7年度実績集計一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域	ケア 地域 合計
支援1	2	10	2	10	2	11	2	7	2	8	2	8	24
支援2	0	8	0	10	0	10	2	12	3	11	2	11	16
介護1	6	18	6	18	6	18	8	15	12	11	11	10	107
介護2	4	11	4	11	4	11	5	12	4	10	5	11	51
介護3	1	4	1	4	1	4	2	3	2	5	2	5	18
介護4	1	4	1	4	1	4	2	2	2	0	2	2	6
介護5	1	1	1	1	1	1	0	1	2	2	1	1	0
支援計	2	18	2	20	2	21	4	19	5	19	4	19	40
介護計	12	38	12	38	12	38	15	33	18	30	18	29	182
合計	70	72	72	72	73	73	71	72	72	72	71	70	858
初回(支)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
連携(支)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	7
初回(介)	1	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	9
入院I	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
入院II	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
退院1有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
退院1無	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
退院2有	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
退院2無	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
退院3無	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0
ターミナル	1	3	2	2	0	1	0	1	0	1	0	0	0
加算計	1	3	2	2	0	1	0	1	0	1	0	0	8
認定調査	1	1	1	1	2	2	1	3	3	1	1	1	5
支援報酬	79,560	87,516	87,516	87,516	91,494	91,494	91,494	95,472	95,472	95,472	95,472	91,494	1,089,972
介護報酬	580,688	580,688	580,688	580,688	580,688	580,688	547,982	552,429	555,200	552,242	541,154	538,561	6,734,376
加算報酬	6,126	4,084	3,063	6,126	7,147	6,126	6,126	3,063	3,063	0	3,063	0	44,924
認定調査	3,300	0	3,300	6,600	0	0	3,300	9,900	0	6,600	6,600	0	42,900
報酬合計	669,674	672,288	674,567	680,930	679,329	648,902	641,225	660,864	653,735	654,314	646,289	630,055	7,912,172

